



ディスクロージャー優良企業受賞に寄せて

富士重工業株式会社 取締役専務執行役員・CFO 高 橋 充

このたびはディスクロージャー優良企業2016に選定頂き誠にありがとうございました。今回で3年連続で選定頂いたことになり、大変光栄で名誉あることと感激しております。改めまして投票頂いたアナリストの皆様には厚く御礼申し上げます。

当社のIR体制は担当者が2.5名（1名は兼任）と少人数で行っております。このような陣容にも拘らず当社のIR活動をご評価頂いたのは、担当者の直向で懸命な努力に加えて、CEOをはじめとするトップマネジメント層全体がIRの重要性を正しく理解し、機会ある毎に投資家の皆様との対話を積極的に重ねてきた結果かと思っております。また対話におきましては経営ビジョン・戦略にはじまり財務数値面の説明に留まらず、当社の企業価値を生み出す源泉である開発・製造部門の生の姿を幾度となくご覧頂き、理解を深めて頂いたことも大きな要素ではないかと思っております。これからもありのままの当社の姿をご覧頂くと共に、当社の目指している方向性とそれに向けて取り組んでいる活動をご理解頂けるよう努力してまいりますのでどうかよろしくお願い致します。

さて皆様もご存知のとおり、現在自動車業界は自動車が生の中にも普及を始めて以来100年ぶりの大きな岐路に立たされている状況です。世界的に高まる環境対応要請に応えるためのパワートレインの電動化、交通事故の削減や利用者の飛躍的拡大につながる自動運転技術、そして新しいカービジネスを提供しようとするカーシェアリング等、

大きなパラダイムシフトを目前にしています。いずれの課題もこれまでの業界プレーヤーだけに留まるテーマではなく、新規参入事業者も交えて大きな構造変革の可能性を感じさせると同時に、将来的にどのような姿に着地するのもかみ予見ができない状況です。このような環境下、決して業界では大きな存在ではない当社がどのような戦略を立て、またどのようにその準備をしていくかが投資家の皆様の最大の関心事であり、当社がしっかりと説明をしていくべき事項かと思っております。

当社は2020年に向けた経営ビジョンの中で、ありたい企業像として「大きくはないが、強い特徴を持ち、質の高い企業」を掲げております。この目指す姿を常に見失うことなく、先に述べた大きな外部環境変化の中でいかに実現していくか、全社をあげて取り組んでいるところです。そのため的手段として「スバルブランドを磨く」ことと「強い事業構造をつくる」ことに注力してまいります。2017年4月には創業100年を機に、社名を株式会社SUBARUに変更し、ブランド認知度を高めていく予定です。

大きな環境変化の波を乗り越えて持続的な成長を遂げていくことは容易いことではないかと思いますが、これまでご支援頂いた投資家の皆様のご期待を裏切らないよう全社をあげて努力してまいります。アナリストの皆様におかれましても、どうか対話を通じてこれまで同様様々なご提言やご意見を賜れば幸いです。引き続き格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。